

会 議 結 果

会議名	令和7年度 第4回 新磯地区まちづくり会議		
事務局等	南区役所 新磯まちづくりセンター 電話046-251-5242 (直通)		
開催日時	令和8年2月16日(月) 午後7時00分から午後8時35分		
開催場所	新磯公民館大会議室		
出席者	委員	22人(別紙のとおり)	
	その他	3人(廃棄物政策課、ごみ減量PR室、清掃施設課)	
	事務局等	2人(新磯まちづくりセンター)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 一部不可
	傍聴者数	3人	
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議 題</p> <p>(1) 本市の廃棄物行政の現状と課題について</p> <p>(2) 次期一般廃棄物最終処分場候補地選定について</p> <p>(3) 桜並木の保全に係る地域での取組について</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 次期委員の選出について</p> <p>(2) 地域活性化事業交付金の見直しについて</p> <p>5 閉 会</p>		

経 過

1 開 会 穂苅副会長

2 あいさつ 鈴木会長

3 議 題 進行：鈴木会長

(1) 本市の廃棄物行政の現状と課題について

標記について、相模原市環境経済局廃棄物政策課から説明があった。現在の最終処分場が令和19年度に満杯となる見込みであることや、本市の一人あたりの家庭系ごみ排出量が政令指定都市の中で多い状況にあることなどが示された。

<主な意見・質問>

○ 本日の資料は重要な情報であるため、紙媒体で周知してもよいか。

⇒ 地域の実情に合わせて周知していただきたいため、紙資料やデータの提供など各団体等から相談があった場合にはできる限り対応したい。

○ 自治会未加入者や外国人住民への周知はどのようにするのか。

⇒ ごみの分別方法を変更することについては、チラシ全戸配布、新パンフレット全戸配布に加え、外国人雇用企業への出張説明会等を通じて手厚く対応する予定である。

○ 近年、ごみ排出量がなぜ減少しているのか要因を調査すべきである。

○ ごみの排出量をさらに減らして、現在の最終処分場を延命してもらいたい。

○ 家庭ゴミの有料化や個別収集の市としての検討状況を教えてほしい。

⇒ 現在、審議会で検討中であり、答申いただいた後、市の方針を示していきたいと考えている。

(2) 次期一般廃棄物最終処分場候補地選定について

標記選定結果について、相模原市環境経済局清掃施設課から説明があった。令和3年度から候補地選定に取り組んできた結果、南区麻溝台の現最終処分場の西側区域を「最も有力な候補地」として選定した。令和19年度の供用開始を目指し、令和8年度から基本計画の策定、その後に環境影響評価や用地取得等を進めるスケジュールが示された。

<主な意見・質問>

○ ごみ排出量が減少しているが、約12ヘクタールの候補地を全て最終処分場として整備するのか。

⇒ 令和3年の基本構想時点での必要面積は9.4ヘクタールであるため、12ヘクタール全てを整備することはないと考えている。詳細は令和8年度からの基本計画策定に向けた検討の中で、施設規模等を精査する予定である。

○ 最終処分場の建設による環境への影響が心配である。

⇒ 市の環境影響評価条例に基づき、工事中及び供用開始後の粉じんや騒音等の環境影響を評価し、影響があると評価された場合には、低減措置を講じることとなる。

○嵩上げによる灰等の飛散が心配である。

⇒ 埋立て当日に覆土（土を被せる）し締め固めており、影響はないと考えている。

（3）桜並木の保全に係る地域での取組について

第3回会議での街路樹維持管理に関する説明を受け、市道新磯の桜並木を地域のシンボルとしてどのように保全していくかについて協議が行われた。前回の市側回答では、危険木の伐採や段階的な植替えを検討する方針が示されている。行政への要望に留まらず、地域主体で何ができるかに焦点を当てて意見交換がなされた。

<主な意見・質問>

○ 桜並木を後世に残すため、実行委員会や保全委員会等の新たな組織を立ち上げるなど、地域としての総意をまとめたうえで、行政やJR等の関係機関と粘り強く交渉すべきである。

○ 通学路としての安全（草刈りや境界線の明確化）を第一に考えつつ、観光資源としての魅力を維持するため、JR敷地との境界整備を含めた抜本的な対策が必要である。

<今後の進め方>

今月末までに集まった各委員からの意見等を踏まえ、まちづくり会議としての方向性について、役員会で検討していくこととなった。

4 その他

（1）次期委員の選出について

現委員の任期が令和7年度末で満了となるため、各団体に対し令和8年3月31日までに次期委員（原則として団体長）を選出・報告するよう依頼があった。

（2）地域活性化事業交付金の見直しについて

令和8年度からの標記交付金の見直し概要について、新磯まちづくりセンターから説明があった。

<見直し概要>

○ 交付回数が最大5年（5回）に延長され、補助率は段階的に引き下げられる（3回目まで10/10、4回目3/4、5回目1/2）。

○ マップ作成等の情報発信事業については、更新の必要性から回数制限なし（補助率10/10、原則3年を経過している必要がある）。

（3）報告事項

○ 新磯観光マップ：10年ぶりに改訂。配布を開始するとともに、アンケートへの協力を依頼。

- 相模の大凧まつり：初凧（お祝い凧）の申し込みを受付中。
- 地区社協敬老事業：80歳以上の高齢者世帯への訪問活動（安否確認・相談等）を実施中。
- JR相模線駅前イルミネーション：2月末まで点灯継続。

5 閉 会 藤野副会長

以 上

新磯地区まちづくり会議委員出欠席名簿

[◎：会長 □：副会長]

No.	団体名・役職等	氏名	出欠席
1	新磯地区自治会連合会 会 長	◎ 鈴木 真司	出席
2	新磯地区自治会連合会 (自治会法人上磯部自治会連合会) 副会長 (会長)	野崎 雅利	出席
3	新磯地区自治会連合会 (自治会法人下磯部自治会連合会) 副会長 (会長)	中澤 昇	出席
4	新磯地区自治会連合会 (自治会法人勝坂自治会連合会) 副会長 (会長)	茅 正道	出席
5	新磯地区自治会連合会 (自治会法人新戸自治会連合会) 副会長 (会長)	加藤 明夫	欠席
6	相模原市安全・安心まちづくり推進協議会新磯支部 副支部長	岩田 弘	出席
7	相模原南交通安全協会新磯支部 支部長	吉山 学	欠席
8	相模原市消防団南方面隊第2分団 分団長	坂野 康孝	出席
9	新磯地区社会福祉協議会 会 長	□ 穂苅 健二	出席
10	新磯地区民生委員児童委員協議会 会 長	□ 藤野 互由	出席
11	新磯地区老人クラブ連合会 会 長	三膳 節勝	出席
12	新磯地域包括支援センター センター長	早田 榮	欠席
13	新磯観光協会 会 長	荒井 優子	出席
14	相模の大凧文化保存会 会 長	八木 亨	出席
15	新磯公民館 館 長	□ 内田 耕一	出席
16	新磯地区青少年健全育成協議会 会 長	曾我 ユキ子	出席
17	新磯地区健康づくり普及員協議会 代 表	比嘉 敏恵	出席
18	新磯地区青少年指導委員連絡協議会 会 長	田淵 淳子	出席
19	スポーツ推進委員 (新磯地区) 代 表	村尾 真理	出席
20	新磯小学校PTA 会 長	太田 翔平	出席
21	相陽中学校PTA 会 長	松原 綾子	出席
22	新磯商盛会 会 長	川邊 京子	出席
23	相模原市農業協同組合女性会新磯支部 支部長	佐藤 祐子	出席
24	新磯こどもセンター 館 長	守屋 樹	欠席
25	相模原南児童ホーム 所 長	曾我 幸央	出席
26	新磯地区介護保険事業所等連絡会 会 長	千葉 智	出席